

安全で安心して暮らしていけるまちを目指して

笠松町長 広江正明

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

国では、三位一体の改革が進められ、今後、国庫支出金の削減、また景気の低迷が続くなか、税の増税が見込まれない状況などから、行財政改革を一層推進しなければなりません。

町におきましては、昨年六月に実施した合併に関する住民投票の結果を踏まえ、厳しい行財政状況に適切に対応しながら住民ニーズに密着した効率の良い行財政運営を進めていくこととなりました。

本年も『第四次総合計画』の基本理念のもと、自助・共助・公助で住

民協働による「安全で安心して暮らしていけるまち」を目指した各種事業を推進してまいります。

地域づくりと人づくりを基本とした行財政改革推進プランを策定し、子育て支援施策として乳幼児・児童生徒医療費助成、延長保育の充実などの少子化対策事業、高齢者を活かしたまちづくり施策としてシニアサークルの育成、三世代ふれあい交流事業の充実などの高齢者対策事業、生涯・学校・家庭教育施策として学習情報提供相談システムの構築、歴史文化ふるさとサポート事業の実施などの歴史文化教育事業、社会的弱者対策、情報提供施策として地域住民主体による防災訓練などの実施、

緊急時情報伝達システム（携帯メール）の導入などの防災防犯対策事業、また、廃棄物減量化・資源化・リサイクル化施策として循環型社会の啓発・教育の推進、住民協働による循環型システムの構築などの環境対策事業を積極的に展開してまいります。

今後は、限られた財源のなかで新たな行政課題や社会経済情勢の変化に対応するため、財政健全化に向けた行財政改革を断行してまいります。町民の皆様と行政がともに厳しさに立ち向かい、協働によるまちづくりを推進してまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

安心・快適な

まちづくりを目指して

笠松町議会議長 安田敏雄

あけましておめでとございます。新春を迎えるに当たり、町議会を代表してごあいさつを申し上げます。町民の皆様には、日ごろから町政発展並びに議会運営諸般にわたり格別なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、国内各地での地震や集中豪雨、台風などのニュースに続き、国外における東各地でのテロに至っては、今なお終わることなく繰り返されています。今日、長引く景気の低迷による産業・雇用構造の変化、加速化する少子

高齢化や高度情報化、国際化の進展、人々の価値観の変化など、まさしく時代の転換期にあります。また、国の「三位一体の改革」に伴い、地方自治を取り巻く環境も大きく変貌しており、住民に身近で総合的な行政サービスを提供する行政の役割がますます重要なものとなってきております。

我々議会といたしましても、地方を取り巻く情勢を的確に見極め、多様化する住民ニーズを把握し、何事にも果敢に挑戦する気概と想像力を

り組み、引き続き安心・快適なまちづくりの推進と心と体の健康づくりを目指してまいります。また、議会と行政が一体となって行財政改革と住民協働を推進し、皆様がたのご期待に応えるよう最大限の努力をいたす所存であります。

どうか本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

